

第二十一回 貴族院議事速記録第十二號

明治三十八年二月十五日(水曜日)

午前十時二十五分開議

議事日程 第十二號 明治三十八年二月十五日

午前十時開議

第一 擔保附社債信託法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第二 日本興業銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第三 市町村立小學校教育費國庫補助法及教育基金令ニ依ル沖繩縣ノ配賦金及配當金ノ仕拂殘額ヲ翌年度ニ繰越使用ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第四 古物商取締法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第五 質屋取締法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第六 輸入原料砂糖戻稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第七 砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第八 市制町村制中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第九 故坂上田村磨旌表ニ關スル建議案(男爵北垣國道君提出) 會 議

○議長(公爵德川家達君) 本日ノ諸般ノ報告ハ省略イタシマシテ速記録ヘ掲ゲルコトニ致シマス

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ載録ス以下之ニ倣フ〕
一去ル十三日可決シタル左ノ政府提出案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請シ同時ニ可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ
巡查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案
明治三十五年法律第二十九號中改正法律案
一同日特別委員會ニ於テ當選シタル委員長及副委員長ノ氏名左ノ如シ

貴族院議事速記録第十二號 明治三十八年二月十五日 議長ノ報告

古物商取締法中改正法律案、質屋取締法中改正法律案特別委員會
委員長 侯爵大炊御門幾磨君 副委員長 子爵松平 康民君

地租條例中改正法律案、不動産登記法中改正法律案特別委員會
委員長 子爵長岡 護美君 副委員長 石井省一郎君

輸入原料砂糖戻稅法中改正法律案、砂糖消費稅法中改正法律案特別委員會
委員長 伯爵柳澤 保惠君 副委員長 柴原 和君

礦業法案特別委員會
委員長 子爵谷 干 城君 副委員長 男爵松平 正直君

災害地租免除ニ關スル法律案特別委員會
委員長 伯爵大原 重朝君 副委員長 男爵石黑 忠惠君

國有土地森林原野下辰申請期間ニ關スル法律案特別委員會
委員長 子爵鍋島 直彬君 副委員長 子爵永井 尙敏君

一同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
古物商取締法中改正法律案可決報告書
質屋取締法中改正法律案可決報告書
輸入原料砂糖戻稅法中改正法律案可決報告書
砂糖消費稅法中改正法律案可決報告書

市町村立小學校教育費國庫補助法及教育基金令ニ依ル沖繩縣ノ配賦金及配當金ノ仕拂殘額ヲ翌年度ニ繰越使用ニ關スル法律案可決報告書

一昨十四日政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ
戶主ニ非サル者爵ヲ授ケラレタル場合ニ關スル法律案

一同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ
明治三十五年豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムルノ件)

明治三十五年豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムルノ件)

明治三十五年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムルノ件)

明治三十五年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムルノ件)

明治三十五年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムルノ件)

明治三十六年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムルノ件)

明治三十六年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムルノ件)

明治三十六年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムルノ件)

同日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

裁判所構成法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ通牒ヲ受領セリ

明治三十六年度豫備金支出ノ内文部省所管臨時教科書編纂費

右本院ニ於テ承諾スヘカヲサルモノト議決セリ因テ及通知候也

明治三十八年二月十四日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長松田正久

明治三十六年特別會計豫備金支出ノ内内務省所管基隆築港維持費
右本院ニ於テ承諾スヘカヲサルモノト議決セリ因テ及通知候也

明治三十八年二月十四日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長松田正久

○議長(公爵徳川家達君) 茲ニ議長ヨリ諸君ニ御相談イタシタイコトガゴザイマス、此度松村陸軍中將ガ薨去セラレマシタニ付キマシテ、本院ニ於キマシテ哀悼ノ決議ヲ致シタラ如何デアラウカト考ヘマス、第一ニ諸君ノ御意見ヲ伺ヒマス、哀悼ノ決議ヲ致スト云フコトニ御同意ノ御方ハ起立ヲ請ヒマス
總員起立

○議長(公爵徳川家達君) 全會一致ト認メマス、假ニ決議文ヲ議長ニ於テ起草イタシマシタカラ唯今讀ミマシテ諸君ノ御聽キニ入レマス

貴族院ハ戰功顯著ナル陸軍中將從三位勳一等功三級松村務本君ノ薨去ヲ追悼シ茲ニ弔意ヲ表ス

○議長(公爵徳川家達君) モウ一應讀ミマス

〔再ビ決議文ヲ朗讀ス〕

○議長(公爵徳川家達君) 是ニ御異存ハゴザイマセメカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ此決議文ハ陸軍大臣ニ傳達方ヲ依頼イタス積リデアリマス、ソレカラモウ一ツ諸君ニ御諮リイタシマスガ、松村中將ノ葬儀ノ日ニハ議長ガ諸君ヲ代表イタシマシテ會葬イタシタラ如何デアラウカト存ジマス、如何デアリマスカ

〔贊成又ハ異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガ無ケレバ會葬イタスコトニ取計ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 本日ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第一、擔保附社債信託法案、第一讀會ノ續、特別委員長報告、特別委員長岡部子爵擔保附社債信託法案
右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治三十八年二月十日

右特別委員長

子爵岡部 長職

貴族院議長公爵徳川家達殿

(特別委員ノ修正ニ係ル條項ノミヲ載録ス)

第一章 總則

第二條 社債ニ物上擔保ヲ附セムルトキハ其ノ社債ヲ發行スル會社ト信託會社トノ信託契約ニ從ヒ之ヲ發行スヘシ

第四條 社債ニ附スルコトヲ得ヘキ物上擔保ハ左ニ掲グルモノニ限ル

- 一 動産質
- 二 證書アル債權質
- 三 不動産抵當
- 四 船舶抵當
- 五 鐵道抵當
- 六 工場抵當
- 七 鑛業抵當

第十條 主務官廳ハ何時ニテモ信託會社ヲシテ其ノ事業ノ報告ヲ爲サシメ又ハ業務及財産ノ狀況ヲ檢査スルコトヲ得

第十一條 主務官廳ハ信託會社ノ業務又ハ會社財産ノ狀況カ信託事業ノ執行ニ適セスト認ムルトキハ其ノ事業ノ停止又ハ業務執行方法ノ變更ヲ命

シ其ノ他委託會社及社債權者ノ利益ヲ保護スルニ必要ナル命令ヲ發スル
コトヲ得

第十二條 信託會社ヲ法令、定款若ハ主務官廳ノ命令ニ違反シ又ハ公益ヲ
害スル行爲ヲ爲シタルトキハ主務官廳ハ其ノ事業ノ停止若ハ取締役ノ改
選ヲ命ジ又ハ免許ヲ取消スコトヲ得

第十七條 外國ニ於テ物上擔保附社債ヲ募集セムトスル會社ハ主務官廳ノ
許可ヲ受ケ外國會社ト信託契約ヲ締結スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ信託ヲ引受ケタル外國會社ハ日本ニ支店ヲ有セサルト
キハ日本ニ於ケル代表者ヲ定ムヘシ

商事會社ハ前項ノ代表者タルコトヲ得

第二項ノ規定ニ依リ代表者ヲ定メタルトキハ遲滞ナク其ノ氏名及住所又
ハ商號及本店ヲ主務官廳ニ届出ヘシ

日本ニ於ケル外國會社ノ代表者ハ信託事務ニ關シテハ信託會社ノ取締役
又ハ之ヲ代表スル社員ト同一ノ權限ヲ有ス

第十九條 信託證書ニハ左ノ事項ヲ記載シ委託會社及受託會社ノ代表者之
ニ署名スヘシ

一 委託會社及受託會社ノ商號

二 社債ノ總額

三 各社債ノ金額

四 社債發行ノ價格又ハ其ノ最低價額

五 社債ノ利率

六 社債償還ノ方法及期限

七 利息支拂ノ方法及期限

八 債券ニ記載スヘキ事項ノ表示及札附ナルトキハ其ノ旨ノ表示

九 擔保ノ種類、目的物、順位、先順位ノ擔保ヲ付シタル債權ノ金額其ノ
他目的物ニ關シ擔保權者ニ對抗スルコトヲ得ヘキ權利ノ表示

十 第三十二條ニ依ル社債ナルトキハ其ノ事實及各會社ノ負擔部分

十一 委託及受託ノ表示

十二 證書作成ノ年月日

各社債ノ金額ハ均一ナルカ又ハ最低額ヲ以テ整除シ得ヘキモノナルコト
ヲ要ス

第二十八條 受託會社カ前條ノ規定ニ依リ社債ヲ讓渡シタル場合ニ於テハ
受託會社ニ代リテ其ノ社債ノ償還及利息ノ支拂ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲
ス權限ヲ有ス

第五十二條 社債權者集會ノ決議ハ信託契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ
外行使セラレタル議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但シ第六十四條、第六

十七條第一項、第七十五條、第八十五條、第八十六條及第九十七條第一
項ニ記載シタル事項ノ決議ハ總社債權者ノ半數以上ニシテ社債總額ノ半

數以上ニ當ル社債權者カ議決權ヲ行使シタル場合ニ非サレハ之ヲ爲スコ
トヲ得ス

商法第六十一條第二項乃至第四項ノ規定ハ社債權者集會ノ決議ニ之ヲ
準用ス

集會ニ出席セザル社債權者ハ信託契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外書
面ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得

各社債權者ハ社債ノ最低金額毎ニ一箇ノ議決權ヲ有ス但シ社債ノ最低金
額ノ十一倍以上ヲ有スル社債權者ノ議決權ハ信託契約ヲ以テ之ヲ制限ス
ルコトヲ得

第六十一條 受託會社以外ノ者カ決議錄ヲ作成シタルトキハ自ラ其ノ原本
ヲ保存シ其ノ謄本ヲ受託會社ニ交付スヘシ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ謄本ニ之ヲ準用ス

第七十條 信託契約ニ依ル物上擔保ハ信託證書ニ記載シタル總社債ノ爲
ニ受託會社ニ歸屬ス

受託會社ハ總社債權者ノ爲ニ擔保權ヲ保存シ且實行スルノ義務ヲ負フ

第八十二條 社債カ期限ニ至リ辨濟セラレス又ハ委託會社カ社債ノ辨濟ヲ
完了セスシテ解散シタルトキハ受託會社ハ遲滞ナク社債權者集會ノ決議
ニ依リ擔保權ヲ實行スヘシ

民法第三百五十四條ノ規定ハ信託契約ニ依ル動產質ニ之ヲ適用セス

第九十二條 委託會社ハ受託會社カ信託事務ヲ處理スルニ付正當ニ支出シ
タル一切ノ費用及支出ノ日以後ニ於ケル其ノ利息ヲ償還シ及過失ナクシ
テ受ケタル一切ノ損害ヲ賠償スル義務ヲ負フ

受託會社ハ信託事務ヲ處理スルニ付要スル費用ノ前拂ヲ委託會社ニ請求
スルコトヲ得

第二項ノ規定ハ第二十九條第一項ニ依リ社債ノ總額ヲ引受ケタル者ニ關シ之ヲ準用ス

第九十六條 民法第二百九十八條第三項ノ規定ハ信託契約ニ依ル質權ニ之ヲ準用セス

第九十七條 受託會社ハ信託契約ノ定ムル所ニ依リ又ハ委託會社及社債權者集會ノ同意アルトキハ信託事務ヲ承繼スヘキ會社ヲ定メテ辭任スルコトヲ得

信託事務ヲ承繼スヘキ會社カ外國會社ナルトキハ第十七條第一項ノ規定ヲ準用ス

第九十七條ニ依ル信託事務ノ承繼ハ委託會社、前受託會社及新受託會社ノ代表者ノ署名シタル契約書ヲ作成スルニ因リテ其ノ效力ヲ生ス

前項ノ契約ヲ締結シタルトキハ各會社ハ遲滯ナク書面ヲ以テ之ヲ主務官廳ニ届出ツヘシ

前條ニ依ル承繼ハ新受託會社ニ對スル主務官廳ノ命令書ヲ交付スルニ因リテ其ノ效力ヲ生ス

第二百二條 信託事務ノ承繼ハ第九十七條ニ依ル場合ニ於テハ委託會社、前受託會社及新受託會社、第一百條ニ依ル場合ニ於テハ委託會社及新受託會社遲滯ナク各自ノ公告スヘシ但シ知レタル社債權者及第二十九條第一項ニ依リ社債ノ總額ヲ引受ケタル者ニハ各別ニ之ヲ通知スヘシ

〔子爵岡部長職君演壇ニ登ル〕

○子爵岡部長職君 諸君、本案ハ特別委員ニ付託サレマシテ、委員ハ稍、日ヲ連ネテ調査ヲ致シマシタコトデアリマスルガ、去ル十日ニ調査ノ結了ヲ致シテ議長ノ御手許マデ決議ノ報告ニ及ビマシタ次第デアリマス、此法案ハ一種特別ノ性質ヲ含ミマシタルモノデアリマシテ、委員會ニ於キマシテ調査ニ當リマスルニモ殊ニ注意ヲ致シテ議事ヲ進行イタシタ譯デアリマスル、質問ノ廉モ十分ニ國務大臣並政府委員ニ向ッテ盡シ、討議ニ於テモ十分討議ヲ盡シタ譯デアリマス、此案提出ノ理由ハ案ノ條數ノ甚ダ多キニ拘ラズ誠ニ短キ文章ヲ以テ提出ノ理由ヲ述ベラレテアルノデアリマス、併シ即チ此極簡單ナル理由ヲ以テ即チ此法案ノ必要ヲ感ジテ提出サレタト云フコトハ明瞭ニナッテ居リマスト考ヘマスルノデ、此本案ノ理由ヲ御覽ニナレバ此際此法律ヲ制定

サレルノ經濟社會ニ對シテ已ムヲ得ザルト云フコトハ諸君モ御了承相成リマスルト察シマス、委員會ニ於キマシテモ全會一致ヲ以テ此法律ノ現今ノ經濟社會ニ對シテハ必要ナルモノト認メマシタ次第デアリマス、而シテ各條ノ審議ニ移リマシテ少シク修正ヲ加ヘマシタル所ガアリマスルノデ、是ハ既ニ諸君ノ御手許ニ配付ニナリマシテ御熟讀ニナリマシタコトト信ジマス、其修正ノ重モノナルモノハ多ク字句ノ修正ニ止マリマスルコトデアッテ意味ニ於テハ餘リ變ラヌコトガ多イノデアリマス、意味ニ於キマシテ變リマシタノハ第七條第三項ニ「商事會社ハ前項ノ代表者タルコトヲ得」ト云フコトヲ挿入イタシマシタ、是ハ政府ノ原案ト少シク意味ヲ異ニ致シテ居ル、意味ヲ異ニ致シテ居ルト云フノハ政府ノ原案ニ無イ所ヲ加ヘタノデアリマス、政府ハ外國會社ガ日本ニ支店ヲ有セザルトキハ日本ニ於ケル代表者ヲ定メルト云フコトヲ規定イタシタ、其趣意ハ即チ日本ニ於ケル所ノ外國會社ノ代表者タルモノハ一個人、即チ自然人ニ限ルト云フ見解ヲ以テ立案サレタノデアアル、然ルニ委員會ニ於キマシテハ、外國會社ガ日本ニ於テ代理者ヲ設クル場合ニ於テ獨リ自人ノミナラズ法人タル所ノ商事會社モ法人トイタシテ外國會社ノ代理ヲ致スト云フコトノ出來ルヤウニ致シタ方ガ此法律ノ運用ニ於テ宜シキヲ得タルモノト云フノ見込ヲ以テ唯今申シタル通り第三項ニ「商事會社ハ前項ノ代表者タルコトヲ得」ト云フ一項ヲ挿ンダ次第デアリマス、ソレカラ其次ニアル朱書ノ項モ今申シタ所ノ一項ヲ挿ンダ結果トイタシテ修正ヲ要シタル譯デアリマス、次ニ第五十二條、此條ニ於テハ原案ハ即チ第五十二條ノ第一項ノ三行目ノ原案ニ「總決議權ノ過半數カ行使セラレタル場合」トアル所ヲ朱書ノ如ク修正イタシタ、朱書ノ如ク修正イタスレバ過半數ト云フモノガ總株數ノ過半數ニモナリ、唯ダ株數ノミナラバ大株主ガ少數ノ人數ヲ以テ多數ノ株主所ノ有イタス場合ニ、少數ノ人數ノ爲ニ多數ノ小サイ株主ガ制セラル、コトチ一方ニハ防ガネバナラヌト云フノデ、又一方ニハ株數ノ過半數ト云フコトモ制定シ、又ソレト同時ニ人數モ總株主ノ過半數ト云フコトヲ規定イタシタ、ソレデ雙方ノ鈞合ヲ全ウイタスト云フノデ、斯ノ如ク修正イタシタノデアリマス、同條ノ末項ニアル所ノ修正モ矢張り同様ノ精神カラ出マシタ修正デアリマス、其他ハ總テ原案ニアル所ノ意味ヲ明瞭ナラシムル爲ノ修正ト御覽下スッテ宜カラウト考ヘマス、此修正ヲ提出イタシタノハ速記録デ諸君モ御覽ノ通り委員中ノ富井君ガ提出者デアッテ政府ニ於テモ其各修正ニ對シテ同意ヲ表

サレタノデア、又委員會ハ全會一致ヲ以テ富井君ノ修正ニハ同意ヲ表シタ
譯デアリマス、其間ニ一ノ議論モ戦ハサレタコトハ無イノデアリマス、即チ
大體ニ於テ政府提出ノ本案ノ趣意ヲ全會一致ヲ以テ贊成イタシ、又富井君ノ
出サレタ修正ニ對シテハ政府モ同意シ、委員會モ全會一致ヲ以テ贊成イタシ
タト云フ結果デアリマス、各條ノ修正ニ付キマシテハ御質問ノ廉ハ富井君ヨ
リ説明ヲ致サル、コトト考ヘマスルカ各條ニ付キマシテハドウカ富井君ノ
説明ヲ御待チ下サルコトヲ希望イタシマス

〔藤田四郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 藤田君ハ何デスカ

○藤田四郎君 ちヨット御尋イタシタイコトガアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 御質問デスカ

○藤田四郎君 左様デゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○藤田四郎君 第六條ニ於キマシテ「信託會社ハ銀行事業ヲ除クノ外他ノ事
業ヲ兼ヌルコトヲ得ス」トゴザイマスガ、本案ノ趣意ハ廣ク信託事業ヲ發達
セシムルト云フ趣意デ出來テ居ルコトト思ヒマシタガ、固ヨリ差向キ日本興
業銀行ニ於テ十分力ヲ入レマスコトトハ信ジマスガ、尙日本ノ大キナル銀行
ニ於キマシテモ亦信託事業ト云フモノヲ致サセマシタナラバ一層信託事業ト
云フモノハ發達スルコトト信ジマス、然ルニ今現在ノ大キナル銀行ヲ想像イタ
シマスニ多クハ其必要ナル業務トシテ、即チ附帶業務トシテ或ハ定款ニ掲ゲ
若クハ定款ニ掲ゲズシテ倉庫事業ヲ營ンデ居リマス、固ヨリ倉庫業ガ目的デ
ハアリマセヌ、銀行業ガ目的デハアリマスガ、尙銀行業務ノ目的ヲ働カセマ
ス爲ニ或ハ定款ニ之ヲ掲ゲマシテ附帶業務トシテ倉庫事業ヲ致スト云フコト
ハアルカノヤウニ聞イテ居リマス、私共ガ存ジテ居リマス所ノ三四ノ銀行ハ
現ニ此業務ヲ持ツテ居リマス、何レモ數百萬圓ノ銀行デアリマス、チヨット
此書キ工合ハ兩様ニ解釋シ得ラレルヤウニ思ヒマスガ、政府ノ御主意ハ假令
之ヲ定款ニ掲ゲヤウガ其目的ト云フモノガ附帶業務ト云フ主意カラ起ツテ居
レバ矢張り信託業務ヲ許スト云フ御主意デアリマスカ、一應伺ヒタイ

〔政府委員平沼騏一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(平沼騏一郎君) 唯今ノ御質問ニ御答ヲ致シマスルガ、倉庫業務
デアリマシテ銀行事業ニ附帶ヲ致シテ營ンデ居リマス場合ニ之ヲ銀行事業ノ

一部ト認メ得ベキ場合デゴザイマスレバ、敢テ之ヲ兼ネマスルコトヲ禁ズル
主意デハゴザイマセヌ

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發言ガゴザイマセネバ第二讀會ニ移スベキ
ヤ否ヤノ決ヲ採リマス、二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵岡部長職君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

〔贊成ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 二讀會ヲ直ニ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ是ヨリ第二讀會ヲ開キマス、第一章ト申ス
所ニ委員會ノ修正ガアリマス、特別委員會ノ修正通り御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ修正通り決シマシタ、第一條ヲ問題ニ供シ
マス、第一條、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ第二條ヲ問題ニ供シマス、第二條ハ特別委員
會ノ修正通り御異議ナイモノト見テ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ修正通り決シマシタ、第三條ヲ問題ニ供シ
マス、……原案通り御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ原案通り決シマス、次ハ第四條ヲ問題ニ供
シマス、……特別委員會ノ修正ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ修正通り決シマス、次ハ第五條ヨリ第九條
マデヲ問題ニ供シマス、……御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ原案ニ決シマス、次ハ第十條ヨリ第十七條
マデ、……委員會ノ報告通り御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 第二章全部、即ち第十八條ヨリ第二十一條マデ、委員長報告通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 第三章全部ヲ問題ニ供シマス、……御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異存ゴザイマセヌケレバ……残りノ全部ヲ問題ニ供シマス、……特別委員長ノ報告通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ是ニ於テ第二讀會ハ終リマシタ

○子爵岡部長職君 直ニ三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵大原重朝君 贊成

○伯爵柳原義光君 贊成

〔其他「贊成」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 直ニ三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ是ヨリ第三讀會ヲ開キマス、二讀會ノ決議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 是ニ於テ三讀會ハ終リマシタ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二ニ移リマス、日本興業銀行法中改正法律案第一讀會ノ續、特別委員長報告

日本興業銀行法中改正法律案

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治三十八年二月十日

右特別委員長

伯爵正親町實正

貴族院議長公爵德川家達殿

(特別委員ノ修正ニ係ル項ノミヲ載録ス)

第九條第四號中「地方債證券、社債券及株券ニ關スル」ヲ削リ左ノ二號ヲ加フ

第五 手形ノ割引

第六 法律ノ規定ニ依リ設定シタル財團ヲ抵當トスル貸付同條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項第五號ノ手形ハ割引依頼人ヨリ國債證券、地方債證券、社債券又ハ株券ヲ擔保ニ提出スルモノニ限ル

第十一條ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ外國ニ於テ營ム銀行業務及其ノ附帶業務ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

〔伯爵正親町實正君演壇ニ登ル〕

○伯爵正親町實正君 委員會ノ經過並結果ヲ御報道申シマス、此興業銀行ノ改正法律案ノ提出サレマシタル主意ハ一ハ現行法ノ不備ヲ補ヒ、又一ニハ時勢ノ進歩ニ伴ヒ經濟事業ノ變遷ニ從ヒマシテ、ソレニ應ズル所ノ適當ノ手段ヲ採ラネバナラヌ、ソレニ適當ノ改正ヲ加ヘルト云フ必要ヨリ提出サレタ譯デアリマシテ、第一ノ不備ヲ補フト云フコトニ屬シマスモノハ此第八條ノ但書、第九條ノ第五號、手形ノ割引ヲ加ヘルト、若クハ第十四條ノ二ノ除外例ヲ設ケルト云フヤウナ部類デアリマシテ、第二ノ經濟界ノ發展ニ伴フ所ノ修正ニ屬シマスモノハ第九條第四號中ノ信託業務、是ハ現在此所ニゴザイマス通り制限法ヲ制限サレテアリマスルガ、此度改正ニ依ッテ此制限ヲ取ッテ仕舞ヒマシテ一般ノ信託業務ガ行ハレルト云フコトニナリマシタ、是ハ將來最モ此銀行ニハ必要ナコトデアリマシテ、現ニ唯今此所デ御決議ニナリマシタ信託法、ソレカラソレニ伴ヒマス所ノ鐵道法、工場法等モ段々提出ニナッテ居リマス、ソレ等ノ法案ガ成立ツ曉ニハ直チニ此日本興業銀行等ガソレノ機關トナッテ大ニ信託事業ノ進歩ヲ謀ルト云フ其機關ニナッテ働ク譯ダサウデアリマス、其他先ツ信託業ニ付テモ種々ナ事柄ガゴザイマセウガ、將來此信託業ノ興リマスニ付テハ此銀行ガ一ツ模範トナッテ活動スルト云フ趣意デアルサウデアリマス、ソレカラ此第六項ニ「法律ノ規定ニ依リ設定シタル財團ヲ抵當トスル貸付」是等モ今度新ニ設ケラレマシタ、是モ鐵道財團トカ色々ノ財團ガ出來マスカラ、ソレニ對シテソレヲ抵當トスル所ノ貸付業ヲ行フ、

是ナドモ先ツ新ニ設ケラレマシタ箇條デアリマス、ソレカラ尙其次ニハ第十
一條ニ但書ヲ加ヘル、外國ニ於テ營ム所ノ業務ニ付テハ主務大臣ノ認可ヲ得
タナラバ此制限以外ノ業務ガ出來ルト云フコトト第十二條ノ二ノ公益事業ニ
對シ資金ノ需要アル場合ニ限ツテ無制限ニ債券ノ發行ガ出來ル、此二箇條ガ
最モ今日改正ヲ要スル所ノ骨子デアラウト考ヘマス、此十一條ノ但書ハ、十
一條ハ詰リ日本興業銀行ハ本法ニ記載セザル業務ヲ營ムコトヲ得ズト云フ制
限法デアリマシテ、詰リ此但書ニ依リマシテ其制限ヲ解イテ仕舞ッタ譯デア
リマス、ソレハ内地ニ於キマシテハ第九條ニズツト列記法ニ依ツテ興業銀行
ノ業務ノ範圍ト云フモノガ制限サレテアリマス、如何ニモ内地ニ於テ日本興
業銀行ナドハ特殊ノ銀行デアリマスカラ、他ノ商業銀行等ニモ關係スルノデ
アリマスカラ、斯ノ如キ制限法ハ最モ必要ナコトデアリマスルガ、併ナガラ
外國ニ於テ事業ヲ營ムト云フ時分ニ於テハ、斯ノ如キ制限法デハ到底此商機
ノ發展ヲ謀ルコトモ出來ヌ、寧ロ何ノ役ニモ立タヌモノデアアルガ故ニ、外國
ニ於テ營業ヲ營ムトキニ於テハ寧ロ制限ヲ解カナケレバナリマセヌト云フ趣
意カラ斯ウ云フコトニナリマシタ、ソレデ併ナガラ此文面カラ見マスルト「外
國ニ於テ營ム業務ニ付テハ此ノ限リニ在ラス」トアツテ如何ニモ茫漠トシテ
單リ銀行業ノミナラズ何ノ事業ヲヤツテモ宜イ如ク見エル、或ハ鑛山事業ト
カ或ハ鐵道事業デモ何ヲヤツテモ宜イ如ク見エマスルガ、併ナガラ此原案ノ
精神ハサウデナクシテ矢張り銀行業務ニ限ツテ居ル意味ダサウデアリマシテ
併ナガラ銀行業務及其附帶シタ業務ニダケ限ルコトデアアツテ如何ニモ種類ノ
違ッタ鐵道業トカ若クハ鑛山事業トカ云フモノデハ無イノミナラズ、又實際
サウ云フコトハ銀行ガ兼業トシテ營メル譯デモ無イノデアルカラ、サウ云フ
譯デハ無イ、斯ウ云フ譯デアリマシタカラ、ソレデ委員會ニ於キマシテハ然レ
バ其意味ヲ明ニスル爲ニ此所ヘ文字ヲ加ヘテ明ニ致シテ置イタ方宜クハナ
イカト云フコトカラ致シマシテ、此所ヘ修正ヲ加ヘマシテ「銀行業務及其ノ附
帶業務ニ付テハ此ノ限ニ在ラス」斯ウ云フ修正ヲ加ヘマシタ、是ハ詰リ此原
案ノ意志ヲ明ニスルマデノコトデアリマシテ、別ニ意味ニ於テ少シモ變リマ
セヌ、ソレカラ第十二條ノ二デアリマスルガ、是モ御覽ノ如ク如何ニモ茫漠
タル條項デアリマシテ、詰リ日本興業銀行ガ外國ニ於テ營ム公益事業ニ對シ
マシテハ資金ノ需要アル場合ニ限ツテ主務大臣ノ認可ヲ得タトキニ於テハ無
制限ニ債券ガ發行出來ルト云フコトニナツテ居リマス、ソレデ此公益事業ト

申セバドウ云フ事業デアルカト言ヘバ、是ハ普通ノ公益事業ト云フ公益ト云
フ意味トハ大ニ意味ガ異ツテ居ルサウデアリマシテ、此公益事業ト申スノハ
極範圍ガ狹クテ、サウシテ極意味ノ強イ公益事業デアアルサウデアリマシテ、
言ヲ換ヘテ申セバ即チ一國ノ利害ニ關係スル事業ト云フ意味ノコトデアアルサ
ウデゴザイマシテ、普通ノ公益事業ト云フ意味デハ無イサウデアリマス、サ
ウ申セバ大抵御推量モ出來マセウガ、サウ云フ意味ダサウデアリマス、ソレ
デ此十一條ノ但書ト十二條ノ二ニ付キマシテ種々意味ノ深イコトガゴザイマ
ス爲ニ、特ニ是ハ秘密會ヲ開キマシテ政府委員カラモ十分ニ其意ノアル所ヲ
説明ヲ請ヒマシタ、ソレデ委員會ニ於キマシテ十分其意ノアル所ハ満足イタ
シタヤウナコトデゴザイマス、大體秘密ニ涉ラザル範圍ニ於キマシテ、大體
ニ付テ申シマスレバ詰リ是ハ將來此興業銀行ト云フモノハ是マデハ内地バカ
リノ事業デアリマシタガ、併シ此興業銀行ノ性質トシテ内地バカリノ事業ヲ
營ムコトデハ十分ニ目的ガ達セラレナイ、殊ニ將來滿韓地方ニ於キマシテハ
大ニ我が經濟事業ノ發展ヲ計ラネバナラヌト云フコトハ是ハ申スマデモ無イ
コトデアリマスルカラ、ソレノ機關トナリマシテ、此日本興業銀行ガ大ニ商
業ノ發展ヲ致シ、サウシテ彼地ニ於テ將來ソレノ大ニ活動セシムルト云フ
譯ニナルノデアリマス、然ルニサウ云フ場合ニ立至リマシタトキニ隨分事業
モ大ナル事業ニナルコトデアリマスカラシテ、寧ロ内地ニ於ケル債券發行ノ
制限ナドニ限ラレテ居ツテハ寧ロ何ノ效能モ無イコトニナリマスカラ、是等
ニ至リマシテハ當局大臣ノ監督ノ下ニ於テ十分ノ働キヲ爲サシメルト云フ方
ガ寧ロ將來必要ナ條件デアラウト云フコトヲ考ヘマシタ、先ツ大體ノ意味ハ
サウ云フコトデゴザイマシテ、委員會ニ於キマシテハ別段異議モゴザイマセ
ズ、全會一致ヲ以テ原案ヲ贊成スルコトニ決シマシテゴザイマス、ソレカラ
チヨット前ノ九條ノ末項ニ「前項第五ノ手形ハ」云々ト云フ「第五」ノ次ニ「號」
ノ字ヲ入レマシタガ、是ハ別ニ意味ノ有ルコトデハゴザイマセヌ、前ニ「四
號中」云々ト云フコトガゴザイマスカラ文章ノ體裁ヲ揃ヘタマデ別ニ何モ
意味ノ有ルコトデハアリマセヌ、大體……

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發議ガゴザイマセヌバ第二讀會ニ移スベキ
ヤ否ヤノ決ヲ採リマス、第二讀會ニ移シテ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○伯爵正親町實正君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ……

○伯爵大原重朝君 贊成

〔其他「贊成」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ第二讀會ヲ開キマス、御異議ガゴザイマセヌカレバ全部ヲ問題ニ供シマス、全部特別委員長ノ報告通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガゴザイマセヌカレムコトナ...

○伯爵大原重朝君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトナ...

○伯爵柳原義光君 贊成

〔其他「贊成」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ第三讀會ヲ開キマス、二讀會ノ決議通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ是ニ於テ三讀會ヲ終リマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第三ニ移リマス、特別委員長報告

市町村立小學校教育費國庫補助法及教育基金令ニ依ル沖繩縣ノ配賦金及配當金ノ仕拂殘額ヲ翌年度ニ繰越使用ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月十三日

右特別委員長伯爵室町公大代理

子爵高野 宗順

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵高野宗順君演壇ニ登ル〕

○子爵高野宗順君 本案ノ特別委員ハ委員長ガ室町公大伯爵ゴザイマシテ、然ルニ御病氣デゴザイマシテ御出マシガ出來マセヌ、尙又副委員長、辻新次君モ御病氣デ出席ガ出來ヌカラ、ドウカ私カララテ御報告ナシテ吳レト云フ依頼ガゴザイマシタ、然ルニ其副委員長ナリ委員長ナリ兩君トモ御病氣ノタメ御闕席デゴザイマスカラ委員ノ一人ガ報告ナスルト云フコトハ是マデゴザイマシタカ、ゴザイマセヌカ、私ハ一向承知イタシマセヌ、然ルニ依頼ヲ受ケマシタ故ニ已ムヲ得ズ私ガ御報告ナシタシマスル、殊ニ又私ハ此所ニ登リマシテ諸君ニ御報告ヲ致シマシタコトハゴザイマセヌ故ニ、甚ダ不調法ナリ訥辯ナリ致シマスカラ、ドウカ然ルベク申上ゲルコトハ宜シク御聽取リテ願ヒタイノデアリマス、本案ノ特別委員ハ委員會ヲ去ル十日ニ開キマシテ委員長ト副委員長トノ互選ヲ致シマシテ、ソレカラ十三日即チ一昨日委員會ヲ開キマシタノデゴザイマス、所ガ何分御承知ノ通り文字ニ現レテ居ル如クデ至極簡單ナ案デゴザイマスカラ全會一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ次第デゴザイマスル、併ナガラソレダケハ唯此法案ヲ讀ミ下シタニ止リマスカラ、チヨット小學校ノ教育費ニ對シテ國庫カラドレホド補助ナスル、又教育基金カラドレホド配付ニナツテ居ルト云フダケハ、チヨット皆サン御承知デゴザイマセウガ、述ベテ置キタイト思ヒマス、此國庫カラ補助イタシマス金高ト云フモノハ年々必ズ極ツテハ居リマセヌケレドモ、大凡各府縣ヘ對シテ百萬圓バカリ出テ居リマス、之ニ對シテ沖繩縣ガ受ケマス所ノ額ハ殆ド一萬圓バカリデゴザイマス、ソレカラ又教育基金即チ御承知ノ日清戰爭ノ結果、一千萬圓ガ基金ニナツテ居リマスルガ、其利子即チ五十萬圓ヲ各府縣ニ割リ當テ、配付ナシテ居リマス、是ガ殆ド沖繩縣ノ受ケマス分ハ四千五百圓乃至五千圓グラキノコトデゴザイマス、之ヲ是マデハ始終使ヒマシタアトハ國庫ニ返却シテ居リマシタ、然ルニ本年度ヨリシテ其使ヒマシタ殘額ヲ沖繩縣ニ於キマシテ尙翌年度ニ繰越シマシテ使用ナサセルト云フダケノコトニ止リマシテ、格別深イ意味ハ無いノデ、併ナガラハ理由書ニモゴザイマス通り教育ノ施設ニ非常ナ便利ヲ與ヘル譯デモゴザイマスシ、又我々が考ヘマシテモハ非常ニ獎勵ノ一端ニモナリマス、其獎勵ト云フハ國庫ニ餘リマシタ金ヲ返サズニ翌年度ニ繰越シテ使フト云フコトニナレバ多少餘計ノ金ヲ使フト出ラテ獎勵ノ一端ニモナラウト思ヒマス、故ニ委員會ニ於キマシテハ質問ハ大分ゴザイマシタガ、主意ニ於テハ至極尤ノコトト考ヘマシタ故ニ、即チ委員長副

委員長ハ居ラレマセヌガ、出席ノ委員ハ全會一致ヲ以テ可決スベシト決シマシタ、此段御報告イタシマス、併セマシテ是ハ極簡單ナ案デモゴザイマスカラ、ドウカ諸君ニ於カレマシテモ御賛成下サイマシテ、讀會省略ニナリマシテ速ニ可決アラムコトヲ偏ニ希望イタシマス

○村田保君 讀會省略ニ賛成イタシマス

○伯爵大原重朝君 贊成

〔其他「贊成」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 議長ガ申上ゲタイコトガゴザイマス、唯今高野子爵ガ委員會ノ經過ヲ御述ベニナリマシタガ、此委員會ハ正副委員長トモ缺席デアリマシテ、今高野子爵ノ述ベラレタ趣デ見マスト……ソレデゴザイマスト本院規則ノ第三十九條ノ第三項ニ「委員長ハ委員會ノ決議ヲ經テ其ノ報告ヲ他ノ委員ニ依託スルコトヲ得」ト云フ明文ガゴザイマシテ、正副委員長トモ缺席デ他ノ委員ガ委員會ノ經過ヲ報告スルコトハイケナイト云フコトヲ決議ヲ致シタ先例ガ有ルサウデアリマスカラ、此第三ノ議事日程ニ載ッテ居ル議事ハ延期ナシタ方ガ穩當デアラウト思ヒマス

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガ無ケレバ延期イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第四ニ移リマス、古物商取締法中改正法律案、第一讀會ノ續、特別委員長報告、特別委員長大炊御門侯爵……ソレカラ第五ノ法案モ同一委員ニ付託セラレテアリマスカラ、委員長ノ報告ハ同時ニ煩ハスコトニ致シマス

古物商取締法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月十三日

右特別委員長

侯爵大炊御門幾磨

貴族院議長公爵徳川家達殿

質屋取締法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月十三日

右特別委員長

侯爵大炊御門幾磨

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔侯爵大炊御門幾磨君演壇ニ登ル〕

○侯爵大炊御門幾磨君 是ヨリ委員會ノ經過ヲ御報告ヲ致シマス、先ツ便宜上、古物商取締法中改正法律案ノ方ヨリ申上ゲマス、此法案ハ明治十六年ニ古物商取締條例ヲ發布イタサレマシテ監守罪トカ或ハ竊盜トカ云フ犯罪ヲ取締ル爲ニ設ケラレマシタ、併ナガラ御承知ノ通り沖繩縣ハ教育程度ハ固ヨリ、人情風俗習慣等ニ於テ大層内地ト相違イタシテ居リマス、ソレ故ニ折角ノ法律モ沖繩縣ニ限ッテ施行スルコトガ出來マセナンダデアリマス、所ガ二十七八年ノ戰役以來、追々物事發達シテ參リマスルシ、内地人モ大分移住ヲ致シテ參リマシテ此古物商ヲ營ム者ガ昨年ノ六月三十日ノ調デハ二百九十九人ノ多數ニ相成リマシタ、ソレ故ニ再ビ此法律ヲ同縣ニ實施シタイト云フ主意デゴザイマシテ、委員會ニ於テハ何等ノ異議モ無ク可決イタシマシタ次第デアリマス、ソレカラ次ノ質屋取締法中改正法律案、是ハ申上ゲルマデモ無ク前條ト同様ノ意味デアリマシテ、是亦、委員會ニ於テハ異議ナク可決イタシマシタデアリマス、ドウゾ此兩案ハ至ッテ簡單ナル案デゴザイマスル故ニ讀會ヲ省略セラレマシテ直ニ可決セラレムコトヲ希望イタシマス

〔伯爵大原重朝君讀會省略賛成ト述ブ〕

〔其他「讀會省略賛成」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 此採決モ第四ト第五、東ネテ採決シテ宜カラウト思ヒマスガ、御異存ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 大原伯爵ハ讀會省略ノ……

○伯爵大原重朝君 讀會省略ニ賛成……兩案トモサウハナリマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 唯今御發言ガアッタヤウデアリマスガ、マダ議長ハ御名ヲ呼ビマセヌデシタカラ動議トシテ成立ッテ居リマセヌカラ確メマス

○子爵松平康民君 贊成

○伯爵坊城俊章君 贊成

○伯爵正親町實正君 贊成

○子爵山口弘達君 贊成

○伯爵柳澤保惠君 贊成

○侯爵池田詮政君 贊成

○子爵三島彌太郎君 贊成

〔其他〕贊成「ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 讀會省略ノ動議ハ成規ノ贊成者ガアツタト認メマス、讀會省略ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ原案可決

○議長(公爵德川家達君) 次ハ議事日程第六ニ移リマス、輸入原料砂糖戻稅法中改正法律案、第一讀會ノ續、特別委員長報告、是モ第六第七ト同一委員

デアリマスカラ報告ハ束ネテ致シマス、特別委員長柳澤伯爵

輸入原料砂糖戻稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月十三日

右特別委員長

伯爵柳澤 保惠

貴族院議長公爵德川家達殿

砂糖消費稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月十三日

右特別委員長

伯爵柳澤 保惠

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳澤保惠君 輸入原料砂糖戻稅法中改正法律案並砂糖消費稅法中改正法律案、此二案ニ付キマシテ委員會ノ結果ヲ御報道イタシマス、是ハ委員會ナ一回開キマシタガ、何レモ委員ハ餘リ砂糖ハ委シクゴザイマセヌカデ、政

府委員ノ説明ヲ求メマシタ、ソレデ此所ニ書イテゴザイマスル通り僅カ第一條一項ノ改正デ「砂糖ノ數量ヨリ製造ノ際生成シタル和蘭標本色相第十四號以下、砂糖ノ數量」ト云フ字ガ加ツタノデアリマス、要スルニ是ハ現行法ノ不備ヲ補ヒマスルノデ一體此現行法ノ精神ハ十四號以下ノ物ヲ原料トシテソレデ精製糖ヲ造ツタ場合ニハ、ソレニ對スル輸入稅ニ相應スル金額ノ下付ヲ請求スルト云フコトデゴザイマスガ、併ナガラ此第十四號以下ノ原料砂糖ヲ以テ製造スルトキニハ十四號以下ノ砂糖モ出來ルサウデアリマス、十五號以上ノミナラズ、十四號以下ノ砂糖モ出來ル、是ハ詰リ本法ノ主意ニ反スルノデ砂糖製造原料ニ對シテ戻稅ナスルト云フ、本則ハ其十四號以下ノモノマデモ、戻稅ナスルト云フノハ不適當デアルト云フ主意デ改正ガ出タノデアリマス、ソレカラシテ此砂糖消費稅法中改正法律案ノ方ハ此所ニゴザイマスル通り「第十一條ノ第三項ニ左ノ但書ヲ加フ」ト云フ詰リ但書ノ追加デゴザイマス、是ハ現行法デハ此原料トシテ引取ラレタル砂糖又ハ糖蜜ニシテ引取後六箇月内ニ原料トシテ使用セラレザルトキト雖モ消費稅ヲ徵收スルト云フノデゴザイマスガ、ソレデハ實際災害其他デ以テ原料ノ損失スル場合モゴザイマセウ、サウ云フ時マデモ課稅スルノハ穩當デナイ、ソレ故ニ災害ニ因ツテ亡失スルト云フ場合ガアレバ、是ハ六箇月以内ニ原料トシテ使ハナグツテモ是ハ消費稅ヲ免除スルト云フ意味ト心得テ居リマス、詰リ兩法トモ極簡單ノ改正デゴザイマスカラ是モ例ニ依リマシテ讀會省略ヲ以テ御可決アラムコトヲ希望イタシマス

〔贊成〕ト呼ブ者アリ

○子爵高野宗順君 讀會省略ニ贊成

○子爵一柳末徳君 贊成

○子爵舟橋遂賢君 贊成

○子爵大田原一清君 贊成

○伯爵正親町實正君 贊成

○子爵平松時厚君 贊成

○子爵板倉勝達君 贊成

○柴原和君 贊成

〔其他〕贊成「ト呼ブ者多シ」

○議長(公爵德川家達君) 讀會省略ノ動議ハ成規ノ贊成者ガアツタト認メマ

ス、讀會省略ノ動議ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、此採決モ御異議ガ無ケレバ……

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) マダ議長ガ申上ゲマセヌ、此採決モ御異議ガ無ケレバ第六、第七ノ兩法案、東ネテ採決イタシマスガ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 原案御異存ハ無イト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ原案通り可決

〔子爵谷干城君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 谷子爵ハ何デスカ

○子爵谷干城君 チョット伺ヒタイコトガゴザイマス、此所デ發言ヲ御許シ下サイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 何ノ事デゴザイマス

○子爵谷干城君 高野子爵ノ御報告ヲ御止メニナリマシタコトニ就テ向後ノタメ、チヨット伺ッテ置キタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○子爵谷干城君 是ハ私ガ考ヘテ居リマスル所デゴザイマスルト、御報告ヲ御許シニナッテ支ヘハ無イ例モアルト私ハ存ジマス、ソレデソレハ若シ此正副委員長ガ缺席デゴザイマスレバ其委員會ガ開ケナイ、斯ウ云フコトデゴザイマスレバ、御宣告ノ通りデゴザイマセウガ、既ニ其正副委員長ガ缺席ニ拘ラズ出席ノ人デ決議ニナリ、又正副委員長ハ其コトヲ承知シマシテ、サウシテ高野子爵ヘ依頼ナサレタノデアリマスルカラ、少シモ不都合ハ無イコトト存ジマス、ソレカラ若シ是ガ先刻御許シニナラズシテ無効トナリマシタナラバ、正副委員長ガ出マセヌバ遂ニ決議ハ出來ヌト云フ譯ニナリハ致シマスマイカ、之ナチヨット伺ウテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 谷子爵ニ御答申上ゲマス、唯今谷子爵ガ仰セラレマシタ通り委員會ニ於テハ正副委員長ノ中、ドチカラ必ズ出席スベキコトデアル、ソレデ高野子爵ノ報告ニモ何等ノ委員會ノ決議モ經テ居リマセヌ、決

議ヲ經テ居レバ委員中デ報告シテモ差支ナイノデアリマス、デ甚ダ御氣ノ毒デアリマシタガ、ソレヲ禁ズルト云フ先例ガ確ニアルノデス、ソレデゴザイマスカラ、アノ議事ハ他日ニ御延シテ願ッタノデアリマス

○子爵高野宗順君 ソレニ付テチヨット申上ゲタイノデスガ、發言ヲ御許シニナリマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 高野子爵

○子爵高野宗順君 別ニ理窟デモ何デモゴザイマセヌガ、實ハ唯今モ申シマシタ通り、委員長ガ決ヲ採リマシテ、ソレヲ議長ニ報告ヲ致シマスルノガ順序デゴザイマス、ソレカラ又委員長ガ若シ居ラレヌ時ナラバ副委員長ガ委員長ニ代ッテ矢張り決議ヲ議長ニ報告イタシマスルノハ、是ハモウ言フマデモ無イ次第デゴザイマスケレドモ、ソレデ私ハ兩人トモ已ムヲ得ズ病氣デ闕席サレマシタ故ニ、室町公大伯ニ照會シタ所ガ、ドウカ宜シク頼ムカラ然ルベキヤウニ計ラッテ貰ヒタイト云フ依頼書ガゴザイマシタガ、此方ハ病氣デ已ムヲ得マセヌ、ソレカラ辻新次君ガ副委員長デゴザイマシタ、此御方モ當日委員會ノトキニイツ幾日ニ開クト云フ通知ガゴザイマシタ故ニ、我々モ出マシテ待ッテ居リマシタ所ガ、ドウシテモ見エマセヌ、時刻モ切迫イタシマシタ故ニ電話ヲ以テ辻君ノ模様ヲ聞イテ、出ラレルナラチヨット出テ貰ヒタイト云フコトヲ請求イタシマシタ、所ガ十日ノ日ニ發熱シテ十一日ノ紀元節ニモ參内スルコトガ出來ヌクラキ惡ルイノデアアルカラ、誠ニ遺憾デアルガ、ドウカ委員長ガ出ラレヌケレバ私ガ是非出ナケレバナラヌダガ、其私ガ病氣デアルカラドウカ然ルベク委員會ヲ開イテ決議ヲシテ貰ヒタイト云フコトマデ依頼ニナッタモノデゴザイマス、故ニ私ガ……ト申ス譯デハゴザイマセヌケレドモ、其委員ガ六名出マシテ、其六名ガ相談ノ結果、私ガ其出マシタ者ノ首席デアッタモノデゴザイマスカラ、私ガ所謂委員長ノ代理ヲシテ御ヤリニナッタ宜カラウト云フコトデ、實ハ會議ヲ開キマシタ、決ハ採リマシタ、決議ヲ致シマシタ、可決スベキモノナリト可決ニナリマシタ、ソレ故ニ報告書モ御手許マデ上ゲテ置キマシタ通り、室町公大伯ノ代理トシテ私ガ決議ノ模様ヲ御報告ヲ致シテ置キマシタノデゴザイマスカラ決議ニハナッテ居リマス、決シテ理窟デハゴザイマセヌケレドモ、ソレデ唯今、演壇デ委員長副委員長カラ依頼ヲ受ケテ、局ヲ結ンデ貰ヒタイト云フコトデゴザイマシタ故ニ、局ヲ結ビマシテ幸ニ異議ナク可決シマシタカラ、其可決ニナリマシタコトヲ議

長ノ御手許ヘ報告ヲ致シテ置キマシタ次第デゴザイマスカラ、決シテ理窟ガマシイコトヲ申スノデハゴザイマセヌケレドモ唯理由ヲ申述ベテ置キマス、之ヲ要スルノニ決議ニナリマシタト云フコトダケヲ、チヨット申上ゲテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 議長ハドコマデモ正副委員長ノ缺席デアアル委員會ハ無効デアルト考ヘマス、又……

〔子爵高野宗順君「尙續キマシテ」ト述ブ〕

……議長ハマダ發言中デアリマス、ソレデ又委員會ノ決議ヲ第一經テ居リマセヌカラ、議長ノ先刻宣告イタシタ通りト考ヘマス、併シ此問題ハ他ニモ御論ガアルカモ知レマセヌカラ、兎モ角モ議事日程ノ第九ノ終ルマデ延バシマシテ、議事日程ノ第九ガ終リマシタラ、ソコデ御論ノアル方ハ伺ヒマセウ

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程ノ第八ニ移リマス、市制町村制中改正法律案、第一讀會ノ續、特別委員長報告

市制町村制中改正法律案

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治三十八年二月十日

右特別委員長

伯爵萬里小路通房

貴族院議長公爵徳川家達殿

市制町村制中左ノ通改正ス

市制第九條第二項ヲ左ノ如ク改ム

市公民タル者公權停止中又ハ租稅滯納處分中ハ其公民タルノ權ヲ停止ス家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケ其確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定ニ至ルマテ又公權剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキハ其裁判確定ニ至ルマテ亦同シ

町村制第九條第二項ヲ左ノ如ク改ム

町村公民タル者公權停止中又ハ租稅滯納處分中ハ其公民タルノ權ヲ停止ス家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケ其確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定ニ至ルマテ又公權剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキハ其裁判確定ニ至ルマテ亦同シ

〔子爵加納久宜君演壇ニ登ル〕

○子爵加納久宜君 本案ニ對スル特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告イタシマス、當委員會ハ都合三度開會イタシマシテ、此審議ヲ結了イタシマシタノデゴザイマス、原案ニ付キマシテハ至ッテ短簡ナモノデゴザイマスケレドモ、委員會ハ稍々複雑ノ傾向ヲ呈シマシテ、即チ原案ニ對スル委員會ノ意見ト、此原案ニ對スルノ少數意見ト及修正ニ對シマスルノ反對意見ト、都合三ツニ分レマシタノデゴザイマス、抑々本案ハ公民權停止ノ期間ヲ現行法中ヨリ縮メテ、或ル場合ニ付テノ權利行使ヲ自由ニシタイト云フガ精神デアアルヤウニ思ヒマス、是即チ本案ノ議會ニ現ハレタル所以デアラウト信ズルデアリマス、是ヨリ委員會ノ說ノ分レタル所以ヲ短簡ニ申上ゲマスデゴザイマス、元來現行法ニ於キマシテハ諸君ノ御承知ノゴザイマス通り、公民權ノ、公權ノ停止ト云フ場合ニ於テハ、民事裁判ニ對スル所ノ場合及刑事ノ裁判ニ對スル場合、以上二ツニ規定セラレテ居ルノデゴザイマス、然ルニ本案ニ於キマシテハ民事ノ裁判ニ對シマスル所ノ公民權ノ停止ヲ規定シテ、而シテ刑事ノ裁判ニ對スル所ノ場合ニ於テハ何等ノ規定ハ無イノデアリマス、蓋シ現行法ニ於キマシテハ刑事裁判ノ場合ニ對スル公權ノ停止ハ公判ニ附セラレタル場合ヨリシテ、此停止ヲ受ケルノデゴザイマスルガ、此規定ナキガ故ニ、即チ裁判ノ確定ニ至ッテ始メテ公權ヲ停止スルコトニ解釋セラル、ノデゴザイマス、斯ノ如ク裁判ノ確定ニ至ッテ始メテ公權ヲ停止スルト云フ場合ニナリマス、ト、上訴權ノアル間、即チ上告ヲ致シテ其裁判ノ所謂終審判決ヲ受ケルマデノ間ハ尙依然トシテ權利ヲ行使スルコトガ出來ルト云フコトニナルノデゴザイマス、是ハ餘リ極端デハナイカ、サリナガラ現行ノ法律ニ於テハ公判ニ付セラレタルノミチヲ以テ公權ノ停止ト云フコトニナルノデアアルカラ、是モ餘リ酷デハナイカ、斯ノ如キ先ツ第一ニ論ガ起ツタノデアリマシテ、即チ委員全部ニ於テハ本案ニ付テ其當否ニ於ケル意見ニ對シテハ總テ同意ヲ表スルコトハ出來ヌ、斯ウ云フノガ即チ此本案ニ對スル所ノ委員會ノ意見デアリマシタ、玆ニ於テ修正ノ意見ガ起リマシタノデアリマス、デ此修正ノ說ハ其民事裁判ニ於ケル所ノ場合ト刑事ノ裁判ニ對スル所ノ場合ト此二個ノ場合ヲ規定シテ現行法ニ對スル所ノ酷ニ失スベキコトト本案ニ對スル所ノ餘リ寬ニ失スルトノ其二個ノ場合ヲ折衷シテ此修正案ガ提出セラレタノデゴザイマス、第三ニ於キマシテ此修正說ニモ反對デアルト云フ說サバ是亦簡單ニ申上ゲマスレバ、

如何ニモ現行法ト此修正意見トハ多少公權停止ニ於ケル寛猛ノ差ハアルノデアルガ、元來市制及町村制ノ從來ノ經驗ニ依テ其改ムベキ所ノ廉一二ニシテ足ラナイ、豈啻市制町村制、此第九條ノ二項ノ場合ノミナランヤデアル、而シテ政府委員ニ對スル質問ニ於キマシテモ政府ハ此市制町村制ノ法律ノ改ムベキ所ノ廉ノ多々アルコトヲ認メテ居ッテ業已ニ之ニ付テハ調査ヲ爲シテ近キ未來ニ於テ此改正ヲ議會ニ提出スルノ決心デアル、併シ來期議會ニ於テ必シモ出スト云フコトハ言ハレヌ、ケレドモ兎ニ角近ク此市制町村制ノ改正案ヲ提出スル積リデアル、斯ウ云フ言明デアリマシテ、ソコデ此修正説ニ付テ同意ヲ表セザルト云フノ意見ヲ申上ゲマスレバ、成ルホド現行法ノ公判ニ付セラレタルバカリデ直グニ公權ノ停止ハ稍、酷ナルガ如クデアル、併ナガラ本案ニ對シテハ如何、無論全會原案ヲ贊成スル者ナキホドマデニ此本案ノ不完全ナルコトヲ認メテ居ルノデアルカラ、今日一部ノ改正ヲ爲スト云フヨリモ前途此市町村制ノ改正ノ全部議會ニ提出セラル、ト云フコトノ確ナル以上

デハ、何モ茲ニ於ケル一部ノ改正ヲ爲スノ必要ハ無イデアラウ、而モ今日マデノ現行法律トシテ經過シ來リタル以上デハ唯公權停止ノ期間ノ稍、短キト甚ダ長キト、此二個ノ區別ヲ立テ、見タナラバ、即チ原案ノ如クニ行カズトモ、即チソレガ現行ノ法律トシテ尙存續チスルノデアルカラ、特ニ茲ニ斯ノ如キ現行法ト異ナラザル修正ヲ以テ原案ヲ修正スルノ必要ヲ認メナイデハナイカト云フ、斯様ナコトガ即チ修正説ニ對スル意見ノ或ル一部ニ於テ反對ヲ致シマシタル次第デゴザイマス、然ルニ當委員會ハ委員闕席モアリマシテ、總數七名デアリマシタ、其七名ノ委員ノ中ニ在ッテ原案ニハ無論贊成ハシナイ、故ニ修正ノ説ヲ提出シタル此修正ニ同意ヲ表スル者ガ三名、又此修正チスルノ必要ハ無イトシテ之ニ反對ヲ爲シタル者ガ三名デ、雙方各正半數ニナッタノデアリマス、茲ニ於テ委員長ハ即チ此修正ノ説ヲ至當ナリトシテ投言決議ヲ以テ本案ヲ決了イタシマシテ議長ノ御手許ニ報告ヲ致シマシタル次第デゴザイマス、本員ハ突然委員長缺席ノ爲ニ代ッテ御報告ヲ致シマシタル次第デゴザイマスカラ、甚ダ不束ナ御報告デ總テノ材料モ不整ヒデゴザイマス、ドウゾ諸君宜シク本案ニ付キマシテ御決議アラムコトヲ希望イタシマス

○奥山政敬君 質問イタシマス、唯今加納子爵ヨリ委員會ノ經過、結果ノ御報告ガアリマシタガ、餘ホド綿密ニ報告セラレマシタカラ能ク分リマシタカ、一應併シモウ少シ確メタイコトガアリマスガ、政府委員ニ答辯ヲ求メタイト

思ヒマス、此市町村制ノ法律ノ改正ノ企ガ政府ニアルト云フコトヲ豫テ承ッテ居リマスガ、果シテ改正セラル、デアリマスカ、改正セラル、ニ於テハ近キ將來ニ於テ議會ニ提出セラル、ト云フノ御見込ガアルノデアリマスカ、之ヲ伺ヒタイ、ソレカラ此案ニ付キマシテ、政府ハ同意ヲ表セラ、カ否ヤト云フコトヲ聽イテ置キタイ、反對セラル、ナラバ其反對ノ理由ヲ承リタイ、其二點ノ答辯ヲ求メマス

〔政府委員山縣伊三郎君演壇ニ登ル〕
○政府委員(山縣伊三郎君) 唯今ノ御尋ニ御答ヲ致シマスルガ、市制町村制ノ改正ヲ要スルト云フコトハ政府ニ於テ認メテ居リマスルカラ、是ハ唯今取調中デアリマスル、何時之ヲ提出スルカト云フコトニ付テハ此所デ御答スル譯ニ參リマセヌデゴザイマス、其議ハマダ極ッテ居リマセヌ、ソレカラ又此委員會ニ於テ修正ニナッタモノニ同意シタルカドウカト斯ウ云フ御尋デアリマシタガ……
○奥山政敬君 イヤ少シ……修正ノ事ヲ御尋シタノデアリマセヌ、一體此案ニ付テ同意ヲ表セラレタノデアリマスカ否ヤト云フコトデス
○政府委員(山縣伊三郎君) 此修正ニハ同意シタルデアリマス、ソレハ唯今委員長ヨリ御報告ニナッテ居ル通り公判ニ付セラレタル時ヲ以テ直チニ公民權ヲ停止スルト云フコトハ少シ酷ニ失スルノ嫌ガアリマスカラ、此禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル時ヨリ確定ニ至ルマデハ之ヲ停止スル、斯ウ云フコトニハ同意シタルデアリマス、併シ政府ニ於テハ早晚改正ハスル積リデアリマス、是デ大抵御分リデアリマセウ

○議長(公館徳川家達君) 別ニ御發言ガゴザイマセネバ採決ナイタシマス、二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、第二讀會ニ付スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 少數

○議長(公館徳川家達君) 少數ト認メマス、次ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第九、故坂上田村磨旌表ニ關スル建議案、男爵北垣國道君提出、會議……提出者ガ、居ラレマセヌカラ此會議ハ他日ニ延シマス
○議長(公館徳川家達君) 是ニ於テ諸君ニ御諮リヲ致シマス、明治三十五年度豫備金支出ノ件承諾ヲ求ムルノ件外九件、ソレニ戸主ニ非サル者爵ヲ授ケラレタル場合ニ關スル法律案、此兩案ノ第一讀會ヲ議事日程ニ追加イタシマ

シテ、本日開キマシテ特別委員ノ選舉モ行ツタ方宜カラウカト思ヒマス、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ左様イタジマス

明治三十五年豫備金支出ノ件

明治三十五年豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

明治三十五年特別會計豫備金支出ノ件

明治三十五年特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件

明治三十五年清國事件第二豫備金支出ノ件

明治三十六年度豫備金支出ノ件

明治三十六年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

明治三十六年度特別會計豫備金支出ノ件

明治三十六年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

明治三十六年度清國事件第二豫備金支出ノ件

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十八年二月十四日

衆議院議長松田正久

貴族院議長公爵徳川家達殿

戸主ニ非サル者爵ヲ授ケラレタル場合ニ關スル法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十八年二月十四日

内閣總理大臣 伯爵桂 太郎

司法大臣 波多野敬直

戸主ニ非サル者爵ヲ授ケラレタル場合ニ關スル法律案

第一條 戸主ニ非サル者カ爵ヲ授ケラレタルトキハ一家ヲ創立ス

民法中分家ニ關スル規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二條 前條ノ規定ニ依リ一家ヲ創立シタル者ハ授爵ノ日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ辭令書ノ膺本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツヘシ

一 一家創立地

二 届出人カ家族タリシ家ノ戸主ノ氏名、族稱、職業、本籍地及其ノ戸主ト届出人トノ續柄

三 届出人ノ家ニ入ルヘキ者アルトキハ其ノ名、出生ノ年月日、職業及其ノ者ト届出人トノ續柄

四 届出人及其ノ家族ノ父母ノ氏名、職業、本籍地及父母トノ續柄

五 授爵ノ年月日

戸籍吏カ前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ之ニ依リテ一家創立ノ身分登記ヲ爲スヘシ

〔小松原英太郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 小松原君何デスカ、唯今議長ノ宣告イタシマシタノハ諸君ノ御異議ガ無カッタヤウデアリマスカラ……

〔小松原英太郎君「戰時補助船舶……」ト述ブ〕

○議長(公爵徳川家達君) 今議長ノ發言中デアリマスカラ暫ク御控ヘテ願ヒマス、……小松原君ハ何ンデゴザイマスカ

○小松原英太郎君 此戰時補助船舶獎勵ニ關スル法律案……

○議長(公爵徳川家達君) ソレハ唯今議長ノ申上ゲマシタ委員付託ガ濟ミマシタ上デ更ニ御發議ヲ願ヒタイ、……別ニ御異議ガ無ケレバ特別委員ノ選舉ニ移テハ如何デゴザイマセウ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガ無ケレバ左様イタジマス

○子爵曾我祐準君 何ノ問題ダカ一應御朗讀ヲ願ヒマス、議事日程變更ノ宣告ハ承リマシタガ、議事日程ガ改ツテ何ヲ議スルト云フコトハ我々ハマダ承リマセヌ、少ナクモ御朗讀ヲ願ヒタイ

○議長(公爵徳川家達君) 曾我子爵ニハ御聽エニナラナカッタカ存ジマセヌガ、議長ハ確ニ申上ゲタ、明治三十五年豫備金支出ノ件承諾ヲ求ムル件外九件、戸主ニ非サル者爵ヲ授ケラレタル場合ニ關スル法律案、是ハ確ニ議長ハ申上ゲタ

〔子爵曾我祐準君「ソレハ議事日程ノ變更ノトキノ外ハ承ラヌ」ト述ブ〕

○議長(公爵徳川家達君) 曾我子爵ニ發言ハ許シマセヌ、……特別委員ノ選舉ハ矢張り議長ニ御委任ニナリマスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ議長ガ選定イタシマス、小松原君……

○小松原英太郎君 本員ハ此際ニ議事日程ヲ追加セラレテ戰時補助船舶獎勵ニ關スル法律案ヲ議セラレタイト希望イタシマス、ドウゾ諸君ノ御賛成ヲ願ヒマス

〔賛成〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 小松原君ノ動議ニ賛成者ガアッタト認メマス、御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ議事日程ヲ追加イタシマス

戰時補助船舶獎勵ニ關スル法律案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治三十八年二月十日

發議者

- 子爵曾 我 祐 準 子爵岡 部長 職 辻 新 次
- 松岡 康 毅 男爵松 平 正 直 男爵千 家 尊 福
- 男爵船 越 衛 名 村 泰 藏 男爵有 地 品 之 允
- 小松原英太郎

贊成者 侯爵松平 康 莊

外百三十九名

貴族院議長公爵徳川家達殿

帝國ノ法律ニ依リ帝國臣民ノ設立セル營利ヲ目的トセサル法人カ主務大臣ノ告可ヲ受ケ其ノ所有ニ專屬シ且主務大臣ニ於テ戰時補助船舶タルヘキ資格アリト認ムル一時間十八海里以上ノ最速力ヲ有スル日本船舶ヲ帝國臣民又ハ帝國臣民ノミチ社員又ハ株主トスル商事會社ナシテ貨物旅客ノ運搬ニ使用セシムルトキハ其ノ船舶ニ對シ航海獎勵金ヲ下付スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ航海獎勵金ヲ下付スル場合ニハ航海獎勵法ノ規定ヲ適

用ス

第一項ノ規定ニ依リ法人ノ所有ニ屬スル船舶ヲ以テ貨物旅客ノ運搬ニ從事スル者ハ航海獎勵法第十二條及第十七條ニ掲クル代人ト看做ス

〔小松原英太郎君演壇ニ登ル〕

○小松原英太郎君 諸君、本員ハ本案提出者ノ一人トシマシテ本案提出ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲテ諸君ノ御賛成ヲ願ヒタイト存ジマス、本案提出ノ理由ハ理由書ニ書イテゴザイマス通り、現行航海獎勵法ハ商事會社ノ所有ニ專屬イタシタ船舶デゴザイマセヌケレバ獎勵金ヲ下付スルコトガ出來ナイコトニナツテ居ルノデゴザイマス、ソレ故ニ公益法人ノ如キモノノ所有ニ屬シマスル船舶デゴザイマスルト、假令從來商事會社ガ持ツテ居ル所ノ船舶ヨリハ遙ニ優ツタモノデモ、即チ戰時ノ場合ニ於テハ假裝巡洋艦トシテ國家ノ爲ニ大ニ御用ニ立ツベキモノ、又ハ平時海運航海業ノ上ニ於キマシテモ十分ナル速力ヲ持ツテ居リ、今日海上ノ競争ニ於テ十分勢力ヲ有スベキ船舶デアリマシテモ、此公益法人ノ如キ者ガ所有イタシマス場合ニハ、航海獎勵法ノ適用ヲ致シマシテ之ニ獎勵金ヲ下付スルト云フコトハ出來ナイコトニナツテ居ルデアリマス、本員等ハ斯ノ如キコトハ現行航海獎勵法ニ於ケル一ノ關點ト考ヘルノデアリマス、又戰時補助船舶ニ付キマシテハ今日歐米列國ニ於キマシテ大抵之ヲ持ツテ居ラヌ所ハ無イ、益々獎勵シテ其船舶ノ數ハ増加スル傾デアル、我邦ニ於キマシテハ戰時補助巡洋艦ト申ス如キモノハマダ出來テ居ラヌノデゴザイマスガ、本員等ハ我邦ニ於キマシテモ將來斯ノ如キ船舶ハ最必要デアラウト感ジテ居ルノデアリマス、又平時ノ航海等ニ於キマシテモ今日世界航海業ノ趨勢ニ鑑ミテ見マシレバ世界ノ列國ハ益々競ウテ其船舶ヲ強大ニシ其速力ヲ迅速ニシテ海上ノ利權ヲ爭フ勢デアリマス、此際ニ當ツテ從來ヨリハ一層速力ノ迅速ナル船舶ヲ獎勵スルト云フコトハ極メテ本員等ハ必要ト認ムル次第デアリマス、斯様ナ理由ヲ以チマシテ獨リ商事會社ノ所有ニ專屬スルモノニ限ラズ、公益法人ノ如キモノデモ此戰時補助船舶、即チ有事ノ日ニハ軍事上大ニ國家ノ用ヲ爲シ、又平時ニ在テハ十分ナル速力ヲ以テ航海運上ニ於テ競争上勢力ヲ有スル如キモノハ此航海獎勵法ノ規定ヲ適用シテ獎勵金ヲ下付スルコトガ適當デアラウト思ヒマシテ、本案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、ドウゾ滿場諸君ノ御賛成ヲ得マシテ速ニ本院ヲ通過セムコトヲ希望イタシマス、尙本案ハ委員付託ニナリマシテ、ドウゾ委員ノ審査ヲ經

テ、速ニ本院通過ノ運ビニ至リマスルヤウニ希望イタシマス

○子爵曾我祐準君 本案ハ委員付託ニ賛成ヲ致シマス

〔賛成「ト呼ブ者アリ」〕

○議長(公爵徳川家達君) 小松原君ノ委員付託説ハ曾我子爵ノ賛成ガアリマシタ、委員付託ニ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ「ト呼ブ者アリ」〕

○議長(公爵徳川家達君) 此委員ノ選定ハ議長ニ御一任ニナリマスカ

〔異議ナシ「ト呼ブ者アリ」〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ議長ガ選定イタシマス、是ニ於テ本日ノ議事ハ終リマシタ、御委託ニ相成リマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス、書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔仙石書記官朗讀〕

明治三十五年度豫備金支出ノ件外九件承諾ヲ求ムルノ件特別委員

侯爵菊亭 修季君 子爵松平 直徳君 子爵牧野 忠篤君

宮本 小一君 男爵相浦 紀道君 男爵船越 衛君

男爵新田 忠純君 西村 亮吉君 木村 誓太郎君

戸主ニ非サル者爵ヲ授ケラレタル場合ニ關スル法律案特別委員

公爵二條 基弘君 伯爵正親町 實正君 子爵長岡 護美君

子爵入江 爲守君 男爵尾崎 三良君 濱尾 新君

男爵島津 珍彦君 男爵小原 適君 富井 政章君

戰時補助船舶獎勵ニ關スル法律案特別委員

伯爵徳川 達孝君 子爵堀田 正養君 子爵三島 彌太郎君

男爵赤松 則良君 小松原英太郎君 男爵石黒 忠憲君

男爵川口 武定君 男爵徳川 厚君 野崎 武吉郎君

○議長(公爵徳川家達君) 明日ハ議案ノ都合ガゴザイマスカテ休會イタシマス、次ノ議事日程ハアトヨリ御通知ニ及ビマス、本日は是ニテ散會イタシマス

〔子爵谷干城君「高野子爵ヨリノハドウナリマシタカ、此議事ノ後デ御評議ニナルデゴザイマスカ」ト述ブ〕

午前十一時五十四分散會